

24文科高第387号
平成24年7月24日

各国公立大学長（大学院大学を除く）
各都道府県知事 殿
各都道府県教育委員会教育長

文部科学副大臣
高井 美穂

(印影印刷)

平成27年度及び平成28年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験
実施大綱に係る予定について（通知）

平成21年3月の高等学校学習指導要領の改訂に伴い、平成24年度に入学した生徒から年次進行で先行実施されている数学及び理科については平成27年度大学入試センター試験から、数学及び理科以外の教科については平成28年度大学入試センター試験から、それぞれ新しい学習指導要領に対応した試験を実施することとしております。

このうち、数学及び理科の出題科目等については、国公私立大学及び高等学校関係者等の協議も踏まえ、平成25年5月頃に予定している正式決定に先立ち、「平成27年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱に係る予定について」（平成23年5月31日付け23文科高第231号文部科学副大臣通知）において予定している内容について通知したところです。

一方、平成24年度大学入試センター試験において発生した地理歴史及び公民の問題冊子配付ミス等のトラブルを受け、文部科学省に設置した検証委員会が取りまとめた報告書においては、新しい学習指導要領の実施に対応した平成27年度センター試験以降の実施内容・方法等について、トラブルの未然防止を図る観点から可能な限り簡素化するよう指摘がなされているところです。

このため、「平成27年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱に係る予定について」は、下記のとおり変更いたします。なお、本通知に伴い平成23年5月31日付け23文科高第231号文部科学副大臣通知は廃止します。

また、平成26年5月頃に発出予定の「平成28年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱」において定める出題教科・科目等については、下記のとおりとする予定ですので、あらかじめお知らせいたします。

各国公立大学におかれては、平成27年度及び平成28年度以降の大学入学者選抜において課す大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目の設定（既に公表している場合の変更を含む。以下同じ。）、入学志願者への予告等に遺漏のないようお取り計らい願います。

なお、従来、「大学入学者選抜実施要項」（文部科学副大臣通知）により、「個別学力検

査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学志願者の準備に大きな影響を及ぼす場合には、2年程度前には予告・公表する」こととしていますが、今回の高等学校学習指導要領の改訂に伴う平成27年度及び平成28年度大学入学者選抜において課す大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目の設定についても可能な限り早期に検討し、予告・公表するようお願いします。

また、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校を含む。以下同じ。）を設置する国立大学、各都道府県教育委員会及び各都道府県におかれては、附属高等学校、域内の市町村教育委員会及び所管の高等学校に対する周知について、御配慮願います。

記

1. 平成27年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱において定める出題教科・科目

※アンダーラインは新指導要領に対応した出題科目

教科	グループ	出題科目
国語		「国語」
地理歴史		「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、
公民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」
数学	①	「 <u>数学I</u> 」、「 <u>数学I・数学A</u> 」
	②	「 <u>数学II</u> 」、「 <u>数学II・数学B</u> 」、「工業数理基礎」、 簿記・会計、「情報関係基礎」
理科		「 <u>物理基礎</u> 」、「 <u>化学基礎</u> 」、「 <u>生物基礎</u> 」、「 <u>地学基礎</u> 」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」
外国語		「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」

[補足（平成28年度以降も同じ。）]

- 1) 数学は、①及び②の出題科目のグループごとに試験時間を分けるものとする。
 - 2) 入学志願者は各大学の指定に従い、以下のとおり解答するものとする。
 - ①数学については、各グループにつき1出題科目を選択
 - ②理科については、上記8出題科目のうちから最大3出題科目を選択することとし、具体的には次のとおりとする。
 - A 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択
 - B 「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4出題科目のうちから1出題科目を選択
 - C 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択、並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4出題科目のうちから1出題科目を選択
 - D 「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4出題科目のうちから2出題科目を選択
 - 3) 試験時間については、決定次第すみやかに周知を図る予定であること。
- ※ が平成23年5月31日付け23文科高第231号文部科学副大臣通知からの変更であり、こ

の変更に伴い、大学入試センター試験参加大学は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから1出題科目のみを指定することはできないこととなる。

2. 平成28年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱において定める出題教科・科目

教科	グループ	出題科目
国語		「国語」
地理歴史		「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、
公民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」
数学	①	「数学I」、「数学I・数学A」
	②	「数学II」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」
理科		「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」
外国語		「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」

3. 本通知は、平成25年及び26年の5月頃にそれぞれ発出予定の「平成27年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱」及び「平成28年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱」において定める出題教科・科目等の予定について周知するものであり、今後の試験実施状況等に応じて変更し得るものであること。

【本件担当】

高等教育局大学振興課入試第一係 中村、森

T E L : 03-5253-4111 (内線2469)

F A X : 03-6734-3392

E-mail : gaknyusi@mext.go.jp

平成 21 年告示高等学校学習指導要領に対応した
大学入試センター試験の数学，理科の出題科目等について

〔平成 23 年 4 月 1 日〕
独立行政法人大学入試センター

〔一部変更 平成 24 年 7 月 24 日〕
独立行政法人大学入試センター

平成 21 年 3 月に新しい高等学校学習指導要領（以下、新指導要領という。）が告示され、高等学校においては、平成 25 年度から（数学，理科については、平成 24 年度から）新指導要領に基づく学習が学年進行で実施される。

大学入試センター試験は、大学入学志願者の高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを目的として実施されていることから、平成 28 年度大学入試センター試験から（数学，理科については、平成 27 年度から）新指導要領に対応したものとする必要がある。

このため、大学入試センターでは、平成 21 年 3 月から大学や高等学校の関係者で構成する試験企画委員会、大学入試センター試験等の改善に関する懇談会等において、新指導要領に対応した大学入試センター試験の出題教科・科目について、

- (1) 大学入学志願者の高等学校段階の学力を客観的に把握すること及び大学における個別学力試験との組合せ等により個性・特色に応じた多様な入学者選抜の実施に資すること
 - (2) 新指導要領が必要最低限の知識・技能と教養の幅を確保するという「共通性」と学校の裁量や生徒の選択の幅の拡大という「多様性」のバランスに配慮していることを踏まえ、必履修教科・科目を尊重しつつ、大学進学希望者の学習意欲を含めた学力の育成に資すること
- の観点から検討を行っている。

平成 27 年度からの大学入試センター試験において、新指導要領に対応する数学，理科の 2 教科については、これらを出題教科とすること及びこれらの出題科目に関して、平成 22 年 12 月 10 日時点における検討状況を明らかにし、関係団体等の意見を求めたところであり、寄せられた意見を参考にして、このたび一定の結論を得ることとなった。

なお、数学及び理科以外の出題教科・科目等（専門学科において開設される教科・科目を含む。）については、平成 23 年秋頃を目途に検討状況を中間的に取りまとめ、関係団体等の意見を求めた上で、平成 24 年春頃を目途に一定の結論を得ることとしたい。

また、大学入試センター試験に参加する各大学は、新指導要領の実施に伴う大学入試センター試験の出題教科・科目の利用方法を定めるに当たっては、当該大学・学部等の教育理念，教育内容等に応じた入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づくとともに、高等学校の多様な教育課程にも十分配慮することが望まれる。

さらに、新指導要領により学ぶ高校生が安心して進路を決定することができるよう、大学入試センター試験の出題教科・科目の利用方法や、大学が実施する個別学力試験についての情報提供を例年に比して、前倒しできるよう大学入試センターとして協力を求める。

今後、大学入試センターでは、新指導要領に対応した問題作成等の具体的な事項についての検討を行い、平成 27 年度からの大学入試センター試験の実施に万全を期す所存であるので、関係各位のより一層の御支援を願う次第である。

○ 数学, 理科の出題科目等

平成 24 年度から新指導要領により実施される数学及び理科の平成 27 年度大学入試センター試験の出題科目等については、次のとおりとする。

なお、各科目の出題は、当該科目の履修の前提として履修する科目（例えば、「数学Ⅱ」の場合は「数学Ⅰ」, 「生物」の場合は「生物基礎」等）において取り扱われている関連内容を含むものとする。

また、試験時間及び配点については、現行の大学入試センター試験との継続性を勘案して定めることとし、決定次第、公表することとする。

数 学

(1) 出題科目及び出題範囲

出題科目は「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ」及び「数学Ⅱ・数学B」の4科目とする。

「数学Ⅰ」は「数学Ⅰ」のすべてを出題範囲とし, 「数学Ⅰ・数学A」は「数学Ⅰ」及び「数学A」のすべてを出題範囲とする。

「数学Ⅱ」は「数学Ⅱ」のすべてを出題範囲とし, 「数学Ⅱ・数学B」は「数学Ⅱ」及び「数学B」のすべてを出題範囲とする。

(注1) 「数学Ⅰ・数学A」の出題範囲のうち, 「数学A」については, 3項目の内容(場合の数と確率, 整数の性質, 図形の性質)のうち, 2項目以上を履修した者に対応した出題とし, 問題を選択解答させる。

(注2) 「数学Ⅱ・数学B」の出題範囲のうち, 「数学B」については, 3項目の内容(確率分布と統計的な推測, 数列, ベクトル)のうち, 2項目以上を履修した者に対応した出題とし, 問題を選択解答させる。

(2) 出題科目の選択方法

出題科目を, 次の2つのグループに分け, それぞれのグループにおいて, 以下のうちの1科目を選択解答させる。

グループ①: 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」

グループ②: 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」

(説 明)

新指導要領では, 6科目(「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」及び「数学活用」)が設定され, これらのうち「数学Ⅰ」が必修履修科目となっている。このため, 「数学Ⅰ」を出題するとともに, 大学・学部によっては, 数学に関するより広範な素養が求められることから, 「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ」及び「数学Ⅱ・数学B」を出題する。

なお, 「数学A」及び「数学B」については, 新指導要領の「数学A」及び「数学B」が, それぞれ3項目の内容で構成されており, 3項目の内容をすべて履修させるには3単位程度を

要するが、標準単位数は2単位であり、新指導要領の中で、その内容の取扱いについて、それぞれの科目において3項目の中から適宜選択させるものとされていることから、大学入試センター試験においては、それぞれ3項目の内容を出題し、その中から2項目の内容を選択解答させることとする。

理 科

(1) 出題科目及び出題範囲

出題科目は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の8科目とする。

「物理基礎」は「物理基礎」のすべてを、「化学基礎」は「化学基礎」のすべてを、「生物基礎」は「生物基礎」のすべてを、「地学基礎」は「地学基礎」のすべてを出題範囲とする。

「物理」は「物理」のすべてを、「化学」は「化学」のすべてを、「生物」は「生物」のすべてを、「地学」は「地学」のすべてを出題範囲とする。

(2) 出題科目の選択方法

大学入試センター試験に参加する大学が定める出題科目の選択方法は以下のとおりとする。

- A 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目を選択解答させる。
- B 「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。
- C 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。
- D 「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から2科目を選択解答させる。

(説 明)

新指導要領では、10科目（「科学と人間生活」、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」及び「理科課題研究」）が設定されており、これらのうち、「科学と人間生活」、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」のうちから2科目（うち1科目は「科学と人間生活」を含む。）又は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」から3科目を選択して必修修することになっている。

しかしながら「科学と人間生活」については、新指導要領において、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めることを目標とするとされている。このため、当該科目を出題した場合、大学入試センター試験が科目本来の設定趣旨を歪めるおそれや、高等学校における教育内容に大きな影響を与える可能性があることから、出題しないこととし、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目を出題する。

また、大学・学部によっては、理科に関するより広範な素養が求められることから、「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目を出題することとするが、この出題方法については、高等学校の教育課程の現状を踏まえ、受験者の大幅な負担増とならないよう、例えば、選択問題を配置するなど、一定の配慮を行うこととし、さらに検討を深める。

なお、「基礎を付していない科目」は「基礎を付した科目」の2科目を合わせた試験時間及び配点とする予定である。

出題科目の選択方法については、各科目の内容等を踏まえて、広く選択の幅を用意することとしているが、「基礎を付した科目」は2科目を選択解答させるため、「基礎を付した科目」を利用する大学においては2科目を指定することとし、1科目だけを指定することはできないものとする。なお、「基礎を付した科目」を指定する大学においては、「基礎を付していない科目」を受験した者に対しても受験資格を付与することが可能となるよう、各大学に協力を求める。

以 上

学習指導要領と大学入試センター試験の数学，理科の出題科目の対比表

区分 教科	現行			改訂後			
	学習指導要領		大学入試センター試験	学習指導要領		大学入試センター試験 (平成 27 年度から)	
	科目	必履修科目		科目	必履修科目		
数 学	「数学基礎」(2) 「数学Ⅰ」(3) 「数学Ⅱ」(4) 「数学Ⅲ」(3) 「数学A」(2) 「数学B」(2) 「数学C」(2)	○	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・ 数学A」 「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・ 数学B」	1科目 選択 1科目 選択	「数学Ⅰ」(3) 「数学Ⅱ」(4) 「数学Ⅲ」(5) 「数学A」(2) 「数学B」(2) 「数学活用」(2)	○2単位まで減可 「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・ 数学A」 「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・ 数学B」	1科目 選択 1科目 選択
理 科	「理科基礎」(2) 「理科総合A」(2) 「理科総合B」(2) 「物理Ⅰ」(3) 「物理Ⅱ」(3) 「化学Ⅰ」(3) 「化学Ⅱ」(3) 「生物Ⅰ」(3) 「生物Ⅱ」(3) 「地学Ⅰ」(3) 「地学Ⅱ」(3)	「理科基礎」「理科総合A」「理科総合B」から1科目以上を含めた2科目	「理科総合A」 「理科総合B」 「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	1科目又は2科目 選択	「科学と人間生活」(2) 「物理基礎」(2) 「物理」(4) 「化学基礎」(2) 「化学」(4) 「生物基礎」(2) 「生物」(4) 「地学基礎」(2) 「地学」(4) 「理科課題研究」(1)	「科学と人間生活」を含む2科目又は基礎を付した科目を3科目 「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	① ② A ①から2科目選択 B ②から1科目選択 C ①から2科目及び②から1科目選択 D ②から2科目選択

注 () 内の数字は，学習指導要領で定める標準単位数を示す。

平成24年7月24日
独立行政法人大学入試センター

平成27年度大学入試センター試験からの理科の出題方法等の一部変更について

平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に対応した平成27年度大学入試センター試験からの数学、理科の出題方法等については、大学入試センターの試験企画委員会等の議を経て、平成23年4月に当センターとしての一定の結論を得て公表しました。その後、当センター内に新教育課程試験問題調査研究委員会を設置し、作題の可能性について、また、理科に関しては試験時間等についても、さらに検討を進めてきたところです。

大学入試センター試験においては、従前から、多様な科目選択の幅を確保することができるよう、大学及び高等学校からの要望があることに鑑み、平成24年度大学入試センター試験において科目選択の弾力化を実現し、平成27年度からの大学入試センター試験の出題方法等についても、同様に実施することを想定していたところです。

しかしながら、平成24年度大学入試センター試験で発生した実施上の様々な問題を受け、文部科学省に設置された検証委員会報告書において、大学入試センター試験の実施方法が複雑化していることが指摘され、平成27年度大学入試センター試験の実施内容・方法等については可能な限りシンプルなものとする必要があると提言されております。

このことから、当センターの関係委員会において、様々な観点から改めて実施方法について検討をした結果、平成23年4月公表の理科の出題方法等をそのまま実行に移した場合、実施方法がさらに複雑化し、運用面でのリスクが高くなるとの判断に至りました。このため、平成23年4月に通知した平成27年度大学入試センター試験からの理科の出題方法等について、下記のとおり一部変更することにより、大学入試センター試験の円滑な実施に万全を期すことといたします。

記

平成23年4月4日付入試セ事一第1号で通知した「平成21年告示高等学校学習指導要領に対応した大学入試センター試験の数学、理科の出題科目等について」の理科の出題科目の選択方法を次の1のとおり変更するとともに、大学における理科の「基礎を付した科目」の指定方法を2のとおり変更する。

1 理科の「基礎を付した科目」の選択及び解答方法

理科の「基礎を付した科目」は、試験時間60分で「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目のうちから、受験者に対し、2科目を選択解答させることとする。

変更前

- A 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目又は1科目を選択解答させる。
- B 「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。
- C 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目又は1科目並びに「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。
- D 「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から2科目を選択解答させる。



変更後

- A 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目を選択解答させる。
- B 「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。
- C 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。
- D 「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から2科目を選択解答させる。

2 大学における理科の「基礎を付した科目」の指定方法

理科の「基礎を付した科目」は、大学の科目指定においても1科目のみの指定はできないこととする。

※ 「基礎を付した科目」… 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」をいう。

平成27年度大学入試センター試験からの理科の出題方法等の一部変更 該当箇所

変更前	変更後
<p>平成21年告示高等学校学習指導要領に対応した大学入試センター試験の数学、理科の出題科目等について</p> <p>理 科</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 出題科目の選択方法 大学入試センター試験に参加する大学が定める出題科目の選択方法は以下のとおりとする。</p> <p>A 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目又は1科目を選択解答させる。</p> <p>B 「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。</p> <p>C 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目又は1科目並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。</p> <p>D 「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から2科目を選択解答させる。</p> <p>(説 明) (略)</p> <p>しかしながら「科学と人間生活」については、新指導要領において、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めることを目標とするとされている。このため、当該科目を出題した場合、大学入試センター試験が科目本来の設定趣旨を歪めるおそれや、高等学校における教育内容に大きな影響を与える可能性があることから、出題しないこととし、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目を出題する。この際、<u>高等学校で「科学と人間生活」及び「基礎を付した科目」1科目を履修する者がいることを踏まえ、大学入試センターから提供される成績を活用することにより、大学入試センター試験に参加する大学は、「基礎を付した科目」1科目だけを指定することも可能とする</u>こととする。</p> <p>(略)</p> <p>なお、「基礎を付していない科目」は「基礎を付した科目」に比して試験時間及び配点において、<u>2倍となることを想定している。</u></p> <p>出題科目の選択方法については、各科目の内容等を踏まえて、広く選択の幅を用意することとしているが、「基礎を付した科目」を指定する大学においては、「基礎を付していない科目」を受験した者に対しても受験資格を付与することが可能となるよう、各大学に協力を求める。</p>	<p>平成21年告示高等学校学習指導要領に対応した大学入試センター試験の数学、理科の出題科目等について</p> <p>理 科</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 出題科目の選択方法 大学入試センター試験に参加する大学が定める出題科目の選択方法は以下のとおりとする。</p> <p>A 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目を選択解答させる。</p> <p>B 「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。</p> <p>C 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択解答させる。</p> <p>D 「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から2科目を選択解答させる。</p> <p>(説 明) (略)</p> <p>しかしながら「科学と人間生活」については、新指導要領において、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めることを目標とするとされている。このため、当該科目を出題した場合、大学入試センター試験が科目本来の設定趣旨を歪めるおそれや、高等学校における教育内容に大きな影響を与える可能性があることから、出題しないこととし、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目を出題する。</p> <p>(略)</p> <p>なお、「基礎を付していない科目」は「基礎を付した科目」の2科目を合わせた試験時間及び配点とする<u>予定である。</u></p> <p>出題科目の選択方法については、各科目の内容等を踏まえて、広く選択の幅を用意することとしているが、「基礎を付した科目」は2科目を選択解答させるため、「基礎を付した科目」を利用する大学においては<u>2科目を指定することとし、1科目だけを指定することはできないものとする。</u>なお、「基礎を付した科目」を指定する大学においては、「基礎を付していない科目」を受験した者に対しても受験資格を付与することが可能となるよう、各大学に協力を求める。</p>

平成 27 年度大学入試センター試験からの理科の出題方法等の一部変更 該当箇所

<p>学習指導要領と大学入試センター試験の数学，理科の出題科目の対比表</p> <p>(略)</p> <p>A ①から2科目又は1科目選択 B ②から1科目選択 C ①から2科目又は1科目及び②から1科目選択 D ②から2科目選択</p> <p><u>※ C及びDの試験時間及び配点は，A及びBの試験時間及び配点の2倍となることを想定している。</u></p>	<p>学習指導要領と大学入試センター試験の数学，理科の出題科目の対比表</p> <p>(略)</p> <p>A ①から2科目選択 B ②から1科目選択 C ①から2科目及び②から1科目選択 D ②から2科目選択</p>
--	---

平成 21 年告示高等学校学習指導要領に対応した平成 28 年度
大学入試センター試験からの出題教科・科目等について（最終まとめ）

平成 24 年 5 月 17 日
独立行政法人大学入試センター

平成 21 年 3 月に新しい高等学校学習指導要領（以下、新指導要領という。）が告示され、高等学校等においては、平成 25 年 4 月から新指導要領に基づく学習が年次進行で実施される。

今回の指導要領の改訂は、数学、理科などの一部の教科が他の教科よりも 1 年先行し、平成 24 年 4 月から新指導要領が実施される。このことに対応する必要から、大学入試センターでは平成 27 年度大学入試センター試験からの数学、理科に関し、この 2 教科を出題すること及び各出題教科から選択させる科目を定め昨年 4 月に公表した。

一方、平成 25 年 4 月から年次進行で実施される新指導要領に関しては、平成 28 年度大学入試センター試験からこれに対応した教科・科目とする必要がある。

このため、大学入試センターでは、平成 21 年 3 月から大学や高等学校の関係者で構成する試験企画委員会、大学入試センター試験等の改善に関する懇談会において、新指導要領に対応した大学入試センター試験の出題教科・科目について、

- (1) 大学入学志願者の高等学校段階の学力を客観的に把握すること、及び大学における個別学力検査との組合せ等により個性・特色に応じた多様な入学者選抜の実施に資すること
- (2) 新指導要領が必要最低限の知識・技能と教養の幅を確保するという「共通性」と、学校の裁量や生徒の選択の幅の拡大という「多様性」のバランスに配慮していることを踏まえ、必修教科・科目を尊重しつつ、大学進学希望者の学習意欲を含めた学力の育成に資すること

の観点から検討を行ってきた。

平成 23 年 12 月に、その時点における検討状況を中間的に取りまとめて、この「中間まとめ」に対する意見を関係団体に求めた。その結果、多くの貴重な意見が寄せられ、これらの意見を踏まえ、今般、平成 28 年度大学入試センター試験からの出題教科・科目について一定の結論を得ることができた。関係各位の多大なる御尽力に対し改めて感謝申し上げます。

なお、大学入試センター試験に参加する各大学は、今後、新指導要領に対応した大学入試センター試験の出題教科・科目の利用方法を定めるに当たって、当該大学・学部等の教育理念、教育内容等に応じた入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づくとともに、高等学校等の多様な教育課程にも十分配慮することが望まれる。

さらに、新指導要領により学ぶ高校生が安心して進路を決定できるよう、大学入試センター試験の出題教科・科目の利用方法や、大学が実施する個別学力検査についての情報提供について、例年に比して前倒しして行うように大学入試センターとして協力を求める。

今後、大学入試センターでは、新指導要領に対応した出題教科・科目についての問題作成等の具体的事項を検討し、平成 27 年度及び平成 28 年度からの大学入試センター試験の実施に万全を期す

所存であるので、関係各位のより一層の御支援を願いたい。

具体的な出題教科及び科目は、以下に示すとおりである。

1 出題教科

新指導要領に対応し、平成 25 年 4 月から高等学校等において実施される教科に関し、平成 28 年度大学入試センター試験からは、数学、理科に加えて、必履修教科のうち、国語、地理歴史、公民及び外国語の 4 教科を出題の対象とし、それぞれの教科の必履修科目及び選択科目の中から出題する。また、専門教育を主とする学科（以下、専門学科という。）における履修科目の出題について、配慮する。

なお、必履修教科のうち保健体育、芸術及び家庭の 3 教科については、これまでどおり出題の対象としない。また、情報については、高等学校等の教育内容の実態や、大学入試センター試験参加大学のニーズを踏まえ、平成 28 年度大学入試センター試験においては出題しないこととするが、平成 29 年度大学入試センター試験以降の出題の可能性について引き続き検討する。

2 出題科目等

上記の出題教科に関する出題科目等については、以下のとおりとする。

なお、各出題教科・科目の試験時間及び配点については、現行の大学入試センター試験との継続性も勘案しつつ定めることとし、決定次第、公表することとする。

国 語

出題科目は「国語」1 科目とし、「国語総合」のすべてを出題範囲とし、近代以降の文章、古典（古文、漢文）を出題する。

（説 明）

新指導要領では、6 科目（「国語総合」、「国語表現」、「現代文 A」、「現代文 B」、「古典 A」及び「古典 B」）が設定され、これらのうち「国語総合」が必履修とされている。このため、「国語総合」1 科目を「国語」として出題する。

なお、新指導要領により出題する「国語」は、大学入学者選抜の継続性に鑑み、現行の大学入試センター試験の難易度と同程度の水準とする。

地理歴史

出題科目は「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」及び「地理B」の6科目とする。

上記の各科目は、それぞれの科目のすべてを出題範囲とする。

(説明)

新指導要領では、6科目（「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」及び「地理B」）が設定されており、これらのうち、「世界史A」及び「世界史B」のうちから1科目、並びに「日本史A」、「日本史B」、「地理A」及び「地理B」のうちから1科目の計2科目が必修とされている。

このため、すべての科目を出題する。

公民

出題科目は「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」及び「倫理、政治・経済」の4科目とする。

上記の各科目は、それぞれの科目のすべてを出題範囲とする。

(説明)

新指導要領では、3科目（「現代社会」、「倫理」及び「政治・経済」）が設定されており、これらのうち、「現代社会」1科目、又は「倫理」及び「政治・経済」の2科目のいずれか一方が必修とされている。

このため、すべての科目を出題する。

なお、平成24年度大学入試センター試験から導入した「倫理、政治・経済」については、引き続き出題する。

外国語

出題科目は「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」及び「韓国語」の5科目とする。

「英語」は、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」のすべてを出題範囲とする。

「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」及び「韓国語」については、「英語」に準ずる。

なお、外国語リスニングについては、「英語」のみ実施する。

(説明)

新指導要領では、「英語」の場合、7科目（「コミュニケーション英語基礎」、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」及び「英語会話」）が設定されており、これらのうち「コミュニケーション

ョン英語Ⅰ」が必履修とされている。

しかしながら、新指導要領においては外国語教育の充実がうたわれており、我が国において外国語教育の重要性がますます増していることに鑑み、必履修科目である「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とする。

なお、「英語」以外の外国語については、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」及び「韓国語」を「英語」の出題範囲に準じて出題する。

専門学科に関する科目

出題科目は「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の2科目とする。

「簿記・会計」については、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。

また、「情報関係基礎」は、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。

(参考) 情報に関する基礎的科目

農業科：「農業情報処理」、工業科：「情報技術基礎」、商業科：「情報処理」、水産科：「海洋情報技術」、家庭科：「生活産業情報」、看護科：「看護情報活用」、情報科：「情報産業と社会」、福祉科：「福祉情報活用」

(説明)

専門学科に関する科目は、「中間まとめ」において「これらの科目のうち受験者数が他の教科・科目と比較して極めて少ないものについては、平成28年度大学入試センター試験からの出題について慎重に検討する。」としていた。「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」のここ数年の受験状況を見ると、「簿記・会計」は1,300人程度、「情報関係基礎」は600人余りの受験者がいる。しかしながら「工業数理基礎」の受験者数は、近年減少傾向が継続し、過去5年間では70人以下となっており、平成24年度大学入試センター試験では、42人であった。

また、工業系学科出身者の受験状況を見ると、「情報関係基礎」の受験者数が、「工業数理基礎」の受験者数を常に相当数上回っており、「情報関係基礎」が工業系学科出身者の代替になっている。このような状況から専門学科に関する科目は、「工業数理基礎」を除いた「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の2科目を継続して出題することとする。

3 旧教育課程を履修した者に対する措置

旧教育課程(平成11年3月文部省告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した高等学校等卒業者に対しては、出題する教科・科目の内容に応じて配慮を行うものとし、数学、理科については平成27年度大学入試センター試験において、数学、理科以外の教科・科目については平成28年度大学入試センター試験において、その措置をとる。